

98 狛江の三山の神

歴史的資産



受賞者：十幹森稲荷神社
 推薦者：矢部 里香 さん

【推薦コメント】

1810年頃に住民が京都伏見稲荷のご分霊を歓迎した。かつてこのあたりには諏訪神社、熊野神社があり、十幹森神社を含め「三山の神」として祀られていた。大正年間に多摩川の堤防工事のため、十幹森神社付近の土を使用することになり、現在地に遷された。歳月がすぎ、現在は交通量の多い世田谷通り沿いにあるが、小さいながら鳥居をくぐりぬけると何やら神秘的な気持ちになる。狛江市のパワースポットとなる神社である。

【講評】

十幹森神社には、穀物の神・農業の神・商工業の神として信仰されている倉稲魂命（うかのみたまのみこと）が祀られています。世田谷通りの喧騒のなかにある神秘的にも感じられるこの神社の鳥居をくぐりぬけると日常を忘れさせてくれます。

既に百選に選定されている「水神社」、「伊豆美神社」、「揚辻稲荷」と並び狛江の貴重な歴史的遺構として高く評価するものです。